



根堀台だより

平成29年9月19日

第 54 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

定期演奏会 3年生の花道を飾る



9月17日(日)の午後、本校体育館を会場に「第15回由利中学校吹奏楽部定期演奏会」が行われました。台風18号の接近に伴い、開演間近には空が曇り始め、時折突風の音も聞こえてきましたが、聴衆の温かな眼差しの中、吹奏楽部の奏でるハーモニーが美しく体育館に響きました。

第1部は制服姿でアンサンブルコンテストやコンクールの曲を演奏しました。特に、コンクール曲については、東由利中吹奏楽部の木管楽器などが無い状態での演奏でしたが、全員で調和を取りながら上手に演奏していました。また、第2部ではお揃いのTシャツに着替えて、ポップスやロック、ジャズなど軽妙で楽しい演奏が続き、会場からの手拍子など大変盛り上がりました。

この17名のメンバーで演奏できるのもあとは由利中祭を残すのみとなりました。由利中祭での本当に最後の演奏を精一杯仲間と共に創り上げてほしいものです。

定期演奏会あいさつから (一部抜粋)

音楽には人の心を動かす不思議な力があります。それは、音楽には人間の感情や人生の喜怒哀楽のように、目に見えないものを見るようにする力があるからです。けれど、どんな名曲でも楽譜を眺めているだけでは感動は起こりません。まず、演奏しなければなりません。そのためには技術が必要です。

でもいくら演奏が上手くても不思議な力は湧いてこないのです。独りよがりの自己主張も、気弱な遠慮も、いずれも演奏にはマイナスに働くこととなります。大切なことは吹奏楽部員一人ひとりが奏でる「音」の調和です。演奏の途中に誰かがミスタッチをしても、それを許し、みんなでカバーし合っていこうとする心、仲間を思う心が、「調和」を生み出し、人の心を打つ美しい調べとなるのです。それが音楽を互いに創り上げていく喜びとなるのです。

今日の定期演奏会と来月行われる由利中祭は2人の3年生にとって最後の花道となります。1・2年生にとっても、3年生と演奏できる最後の機会です。時には励まし合ったり、時にはぶつかりあったりしながら、泣いたり、笑ったり、するから部活動は特別な思い出になるのです。3年生は3年間の思いを全部音に乗せて出し切ると共に、次を担う十五名の後輩達に何かを残してやって下さい。由利中吹奏楽部十七名の心に残る演奏、音の調和を期待しています。

台風18号の被害は

秋田地方气象台によると、台風18号は同日午前6時から同9時にかけて本県に最接近。八峰町八森では午前4時42分、9月の観測史上最大となる最大瞬間風速29.9メートルを観測した。このほか、秋田市29.3メートル、にかほ市28.5、能代市26.4メートルなど。降り始めから18日正午までの総雨量は仙北市桜木内で最も多い43.5ミリを記録した。(秋田魁より)



部室側の折れた柳の木
強風で倒れた陽光桜



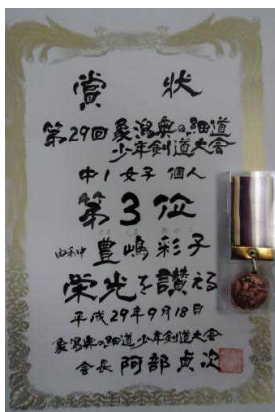
大型の台風18号は9月18日未明から秋田県内にすさまじい強風をもたらし、各地に大きな被害を与えました。テレビのニュースでも由利の山本地区で屋根のトタンが剥がされたことを報じていましたし、知人宅では窓ガラスが割れたという話も聞いています。

朝の短学活で子どもたちにも被害がなかったか学級担任を通して情報収集を行いました。ガラスや屋根に被害のあった家庭もありました。お見舞い申し上げます。

本校の校舎にはお陰様で特別な被害はありませんでしたが、部室の裏にある柳の木の枝が強風で折れて落下していました。落下の際、おそらく部室の屋根に当たったと思われますが、幸いにも部室の破損などはありませんでした。しかし、平成25年度卒業生が卒業記念に植えた「ふれあい広場」の陽光桜には一部強風で倒れたり、木の支えが古くなって折れたりしているものがあり、大変残念に思いました。

これから本格的な秋を迎えることとなりますが、秋は「台風シーズン」でもあります。今回の台風18号は大雨や洪水、強風など、九州や北海道などで甚大な被害を与えました。自然災害には「備え」が大切です。事前に予測し、適切な対応を迅速に行うことで被害は最小限に抑えることができます。本校では生徒の安全確保のために、事前に18日の部活動を休止し、各家庭で待機するようにしました。各家庭でのご指導・ご協力に改めて感謝申し上げますと共に、今後ともよろしく申し上げます。

台風に負けず剣道部頑張る 〇〇さん個人3位入賞



9月18日(日)、「第29回象潟奥の細道少年剣道大会」がにかほ市の象潟体育館を会場に開催され、本校から4名の生徒が出場し、中1女子・個人戦の部で〇〇〇〇さんが見事第3位に入賞しました。大変よく頑張りました。おめでとうございます。

また、他の剣道部員も入賞こそ逃しましたが、最後まであきらめることなく、粘り強く戦うことができました。

1年生だけの剣道部ですが、大会の雰囲気にもまれることなく平常心で戦うことができたことは、大きな経験となりました。他の部活動もこの勢いで新人戦を戦い抜いてほしいものです。